

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%	○				
算数	63.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%	○				
情報の扱い方に関する事項	86.9%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%	○				
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%	○				

【考察】

- 漢字の書き取りや話し言葉と書き言葉の違いなどの「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題があります。普段の授業において文章を書く中で、漢字や話し言葉と書き言葉を正しく使うことができるように意識して指導をしていきます。
- 自分の考えが伝わるように表現することに課題がみられます。授業や委員会活動等で、聞き手の表情や反応によって話し方や内容を変えるなど聞き手を意識した発表ができるように指導していきます。また、分からない点や確かめたいことを質問しながら聞いたり、話し手の考えと比較して共通点や相違点を整理しながら、話したり聞いたりする力も身につけさせていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図形	66.3%		○			
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%	○				

【考察】

- 記述式の問題に課題がみられました。答えを出すことはできても、かける数や積、倍といった用語を使って説明することができていなかったり、条件にあっていなかったりする解答が見られました。問題をよく読み、書かれている条件を読み取ることや、用語を使って分かりやすく説明することができるように意識して指導していきます。
- 目的に応じて収集したデータを整理し、表やグラフを用いて、身の回りの事象について考察する問題に課題がみられました。授業で学んだことを生かして問題を解く時間を授業の最後に設定したり、宿題で基本的な内容と発展的な内容にバランスよく取り組ませたりすることで、学力の向上につなげていきます。